令和7年度放課後等デイサービス 職員向け評価アンケート 実施報告

15 名

実施事業者/事業所: 株式会社Kaien ティーンズ横浜 実施期間: 令和7年10月1日~10月31日 回答者: 放課後等デイサービススタッフ 回答者数: 16 名 回答率: 100.0 %

2. 回答結果

はい

はい

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

いいえ 0 名 どちらともいえない 1 名 どちらと はい ※①に関して改善目標、工夫している点など

②職員の配置数は適切であるか

はい 16 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 0 名



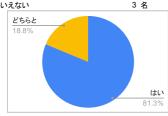
※②に関して改善目標、工夫している点など

③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

11 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 5 名 どちらと はい ※③に関して改善目標、工夫している点など

④業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

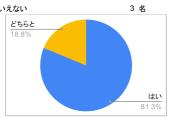
13 名 はい いいえ 0 名 どちらともいえない 3 名



※④に関して改善目標、工夫している点など

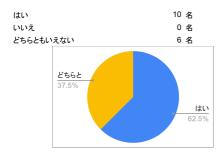
⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

13 名 はい いいえ 0 名 どちらともいえない



※⑤に関して改善目標、工夫している点など

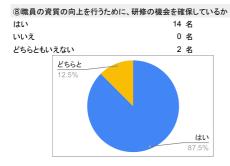
アンケートをもとに、個別に連絡を取って直接意向を確認している。

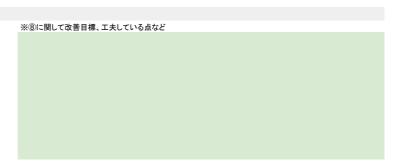


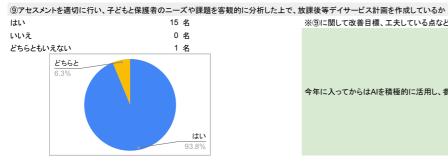


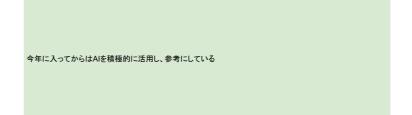




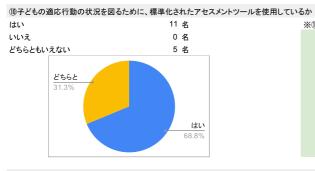


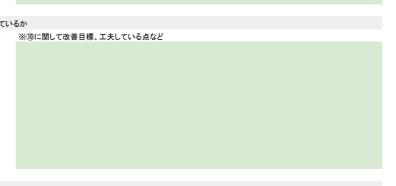


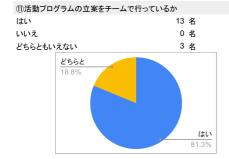




※9に関して改善目標、工夫している点など

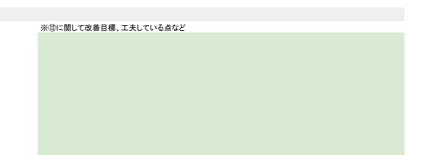




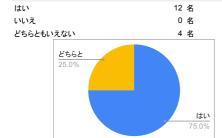




⑩活動プログラムが固定化しないよう工夫しているかはい 13 名いいえ 0 名どちらともいえない 3 名どちらと 18.8%はい 13 名 3 名







※⑬に関して改善目標、工夫している点など

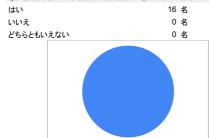
平日と週末のプログラム内容が違うため、それぞれに合った支援内容をケースMTG等で確認している

⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか



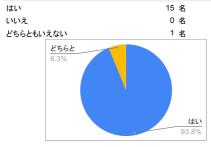
※⑭に関して改善目標、工夫している点など

⑤支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか



※⑮に関して改善目標、工夫している点など

⑥支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



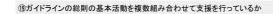
※⑯に関して改善目標、工夫している点など

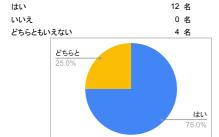
⑪日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

はい 16名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名 ※⑪に関して改善目標、工夫している点など

⑩定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているかはい 12名 ※®にいいえ 0名 どちらともいえない 4名

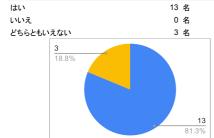


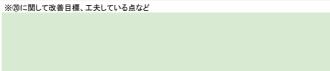




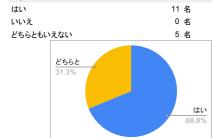


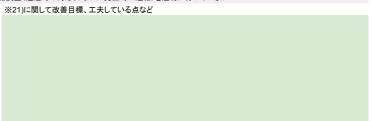
⑩障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか





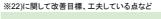
21)学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか

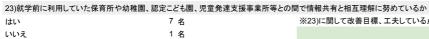


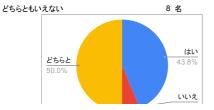


22)医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか









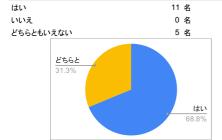




24)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

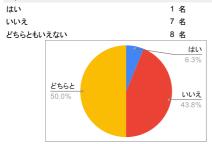
はい 11 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 5 名 どちらと 31.3% はい 68.8% ※24)に関して改善目標、工夫している点など

25)児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか



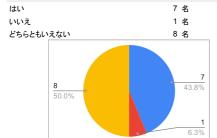
※25)に関して改善目標、工夫している点など

26)放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



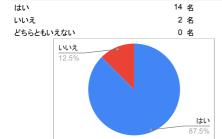
※26)に関して改善目標、工夫している点など

27)(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか



※27)に関して改善目標、工夫している点など

28)日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



※28)に関して改善目標、工夫している点など

29)保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか



※29)に関して改善目標、工夫している点など



30)運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

はい 15名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名 ※30)に関して改善目標、工夫している点など

31)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

14 名

はい

※31)に関して改善目標、工夫している点など

32)父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

 ※32)に関して改善目標、工夫している点など

33)子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい 15 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 1 名 とちらと 6.3% ※33)に関して改善目標、工夫している点など

34)定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

※34)に関して改善目標、工夫している点など

35)個人情報に十分注意しているか

はい 16名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※35)に関して改善目標、工夫している点など

36)障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

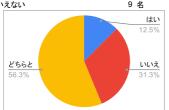
はい 16名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※36)に関して改善目標、工夫している点など

37)事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

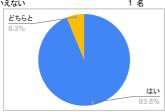
はい 2名 いいえ 5名 どちらともいえない 9名



※37)に関して改善目標、工夫している点など

38)緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

はい 15名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名



※38)に関して改善目標、工夫している点など

39)非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

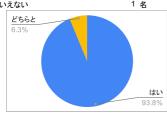
はい 16名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※39)に関して改善目標、工夫している点など

40)虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

はい 15名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名



※40)に関して改善目標、工夫している点など

41)どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

はい 12名 いいえ 0名 どちらともいえない 4名

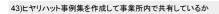
えない 4名 どちらと ※41)に関して改善目標、工夫している点など

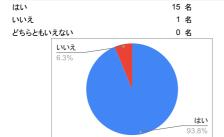


42)食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



※42)に関して改善目標、工夫している点など





※43)に関して改善目標、工夫している点など

3. 事業所考察

【総評】 スタッフ全員(14名、回答率100%)から回答があり、事業所の運営状況に関する共通認識や改善点について貴重な情報を得ることができました。

「はい」が100%と高評価であった項目は、①利用定員とスペース、②職員配置数、領支援終了後の振り返り、⑩個人情報への注意、④非常災害訓練、⑮ヒヤリハット事例の共有であり、特に日々の安全 一方、今回の評価で顕著な課題として浮き彫りになったのは、情報の「周知・共有」の徹底と地域・他機関との「連携」に関する項目です。

情報の周知・共有の課題:⑤保護者アンケート結果、⑥自己評価結果の公開、⑦外部評価結果、⑦協議会参加状況、⑨運営規程等の説明、찗地域住民との交流など、事業所外への情報発信内容や、氵 連携の課題:③専門機関との連携(「どちらともいえない」7名)、⑩他事業所との交流(「いいえ」5名、「どちらともいえない」8名)、⑦地域協議会への参加(「どちらともいえない」9名)といった地域連携や専 今後は情報共有の仕組みを見直し、全スタッフが事業所の全体像と外部との関わりを把握できる体制を構築してまいります。

【今後の対応】 本結果については、令和7年11月20日に事業所内会議に置いて共有、討議を行いました。